



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3151 URL <http://www.vitalksk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 賢
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼経理財務部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 03-3275-3301
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	269,786	1.5	1,956	—	3,532	178.2	2,296	69.3
24年3月期第2四半期	265,813	0.6	△312	—	1,270	△52.3	1,357	△7.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,083百万円(54.6%) 24年3月期第2四半期 1,347百万円(60.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	38.75	—
24年3月期第2四半期	22.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	263,400	—	57,990	—	21.9	—
24年3月期	270,622	—	56,264	—	20.7	—

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 57,661百万円 24年3月期 55,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	554,000	2.3	2,600	78.9	5,670	23.0	3,400	7.8	57.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	61,224,796株	24年3月期	61,224,796株
25年3月期2Q	1,957,864株	24年3月期	1,957,862株
25年3月期2Q	59,266,933株	24年3月期2Q	59,266,928株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融証券取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成24年11月22日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により緩やかに回復しつつあるものの、欧州の金融不安や円高の長期化等の影響で、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、当期は3カ年中期経営計画『統合・先進・現場力』の最終年度となっております。主要な事業子会社（㈱バイタルネットと㈱ケーエスケー）では、営業戦略システム『VKマーケティング』が本年4月より本格稼働し、得意先別営業損益状況を基にした新たな営業戦略の立案・実行による営業競争力強化を図っております。また、事業子会社の本社定型業務を受託する「㈱VKシェアードサービス」による業務効率化等を推進し、コスト削減にも取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高269,786百万円（前年同期比101.5%）、連結営業利益1,956百万円（前年同期は312百万円の連結営業損失）、連結経常利益3,532百万円（前年同期比278.2%）、連結四半期純利益2,296百万円（前年同期比169.3%）となりました。

今後につきましては、『VKマーケティング』の活用による営業競争力の強化により一層注力する一方、業務効率化の推進やグループ全体での人員配置の見直し等によるコスト削減を実行し、利益の確保に努めてまいります。また、医薬品卸売業界共通の課題である、単品単価による納入価交渉の早期妥結等にも引き続き注力してまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品卸売事業

当社グループの主たる事業であります医薬品卸売事業におきましては、国による医療費抑制策により平成24年4月の薬価改定で実質6.4%の薬価の引下げが行なわれ、大幅な薬価ダウンとなった長期取載品の販売が減少したものの、平成22年4月の薬価改定時に試行的に導入され今回の薬価改定でも継続された「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」の対象品目や新製品等の販売に注力する一方、単品単価による納入価交渉を推進してまいりました。また、一部のメーカーでの共同仕入による利益の獲得にも努めてまいりました。

その結果、売上高は、263,032百万円（前年同期比101.5%）、セグメント利益は、1,759百万円（前年同期は502百万円のセグメント損失）となりました。

② その他事業

その他事業におきましては、動物薬卸売事業や小売業が好調に推移した結果、売上高は、6,753百万円（前年同期比102.5%）となり、セグメント利益は、139百万円（前年同期比103.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末から7,221百万円減少し、263,400百万円となりました。内訳は、流動資産195,387百万円、固定資産68,012百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金35,663百万円、受取手形及び売掛金118,167百万円、たな卸資産27,910百万円及び未収入金13,210百万円であります。なお、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が1,882百万円、未収入金が2,639百万円減少したこと等により、流動資産が5,997百万円減少しております。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産32,170百万円、無形固定資産1,762百万円、投資その他の資産34,079百万円であります。

負債は、前連結会計年度末から8,947百万円減少し、205,410百万円となりました。内訳は、流動負債185,768百万円、固定負債19,641百万円であります。

流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金178,872百万円、短期借入金1,350百万円及び賞与引当金1,308百万円であります。なお、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が7,132百万円減少したこと等により、流動負債が8,205百万円減少しております。

固定負債の主な内訳は、退職給付引当金8,780百万円及び負ののれん4,790百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末から1,725百万円増加し、57,990百万円となりました。主な増加の要因は、四半期純利益2,296百万円の計上であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、27,350百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は759百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益3,666百万円の計上、非資金項目である減価償却費1,112百万円の計上、未収入金の減少額2,646百万円等の増加要因の他、仕入債務の減少額7,132百万円、法人税等の支払額1,278百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の増加は1,668百万円となりました。これは主として定期預金の減少額1,853百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は609百万円となりました。これは主として配当金の支払額355百万円、リース債務の返済による支出287百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,216	35,663
受取手形及び売掛金	120,049	118,167
たな卸資産	27,913	27,910
未収入金	15,850	13,210
その他	1,978	2,007
貸倒引当金	△1,622	△1,573
流動資産合計	201,385	195,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,695	12,338
土地	17,775	17,732
その他(純額)	2,315	2,099
有形固定資産合計	32,787	32,170
無形固定資産		
その他	2,025	1,762
無形固定資産合計	2,025	1,762
投資その他の資産		
その他	35,974	35,585
貸倒引当金	△1,549	△1,506
投資その他の資産合計	34,424	34,079
固定資産合計	69,237	68,012
資産合計	270,622	263,400

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	186,005	178,872
短期借入金	1,314	1,350
未払法人税等	1,339	1,398
賞与引当金	1,449	1,308
その他の引当金	194	177
その他	3,671	2,661
流動負債合計	193,974	185,768
固定負債		
退職給付引当金	8,812	8,780
その他の引当金	213	218
負ののれん	5,162	4,790
その他	6,193	5,851
固定負債合計	20,382	19,641
負債合計	214,357	205,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,675	12,675
利益剰余金	31,942	33,884
自己株式	△1,200	△1,200
株主資本合計	48,417	50,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,538	7,302
その他の包括利益累計額合計	7,538	7,302
少数株主持分	309	328
純資産合計	56,264	57,990
負債純資産合計	270,622	263,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	265,813	269,786
売上原価	247,453	249,279
売上総利益	18,360	20,506
返品調整引当金戻入額	162	176
返品調整引当金繰入額	166	177
差引売上総利益	18,355	20,505
販売費及び一般管理費	18,667	18,549
営業利益又は営業損失(△)	△312	1,956
営業外収益		
受取利息	69	79
受取配当金	316	302
負ののれん償却額	372	372
受取事務手数料	709	717
その他	161	141
営業外収益合計	1,629	1,613
営業外費用		
支払利息	32	25
その他	14	11
営業外費用合計	46	36
経常利益	1,270	3,532
特別利益		
固定資産売却益	6	0
貸倒引当金戻入額	800	56
災害見舞金	316	—
受取補償金	—	149
その他	183	12
特別利益合計	1,307	218
特別損失		
固定資産売却損	1	6
減損損失	123	11
投資有価証券評価損	88	22
災害による損失	61	15
その他	26	28
特別損失合計	302	84
税金等調整前四半期純利益	2,274	3,666
法人税等	895	1,347
少数株主損益調整前四半期純利益	1,379	2,318
少数株主利益	22	21
四半期純利益	1,357	2,296

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,379	2,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△235
その他の包括利益合計	△31	△235
四半期包括利益	1,347	2,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,325	2,061
少数株主に係る四半期包括利益	22	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,274	3,666
減価償却費	1,151	1,112
減損損失	123	11
のれん償却額	3	5
負ののれん償却額	△372	△372
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△782	△92
賞与引当金の増減額(△は減少)	26	△141
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△176	△17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△117	△139
受取利息及び受取配当金	△385	△382
受取賃貸料	△42	△39
受取事務手数料	△709	△717
支払利息	32	25
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	66	35
有形固定資産除売却損益(△は益)	△3	8
災害見舞金	△316	—
売上債権の増減額(△は増加)	△6,317	1,796
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,748	2
未収入金の増減額(△は増加)	△42	2,646
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,239	△7,132
差入保証金の増減額(△は増加)	△45	△54
その他	106	△1,042
小計	△10,017	△822
利息及び配当金の受取額	389	382
受取事務手数料の受取額	704	710
災害見舞金の受取額	316	—
受取補償金の受取額	—	149
利息の支払額	△32	△25
法人税等の支払額	△119	△1,278
法人税等の還付額	613	129
その他	△12	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,157	△759

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,357	1,853
有形固定資産の取得による支出	△107	△254
有形固定資産の売却による収入	104	50
無形固定資産の取得による支出	△183	△116
投資有価証券の取得による支出	△71	△85
投資有価証券の売却による収入	112	125
その他	50	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,452	1,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△5,100	40
長期借入金の返済による支出	△3	△3
長期借入れによる収入	900	—
リース債務の返済による支出	△274	△287
社債の償還による支出	△200	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	—	△355
その他	—	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,677	△609
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,288	300
現金及び現金同等物の期首残高	25,171	27,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,883	27,350

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	259,226	259,226	6,587	265,813	—	265,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	683	683	1,314	1,997	△1,997	—
計	259,910	259,910	7,901	267,811	△1,997	265,813
セグメント利益又は損失(△)	△502	△502	134	△368	56	△312

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額56百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	263,032	263,032	6,753	269,786	—	269,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	627	627	1,287	1,915	△1,915	—
計	263,660	263,660	8,041	271,701	△1,915	269,786
セグメント利益	1,759	1,759	139	1,898	57	1,956

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額57百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。
当該変更による当第2四半期連結累計期間の各報告セグメントのセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項はありません。